

# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第165回

公益社団法人  
家庭問題情報センター

きむら ようすけ  
木村 陽介

## 「不安」を訴える妻との面接

Aさん（40代女性）は、夫の精神的暴力を理由に、2人の子どもを連れて、夫と別居しています。当面的に、夫が別居中の生活費を支払うことや、夫と子どもたちの親子交流を行うことが取り決められていますが、Aさんは改めて生活費のことで相談に来られました。

カ（カウンセラー） 別居中の生活費についてのご相談ですか。

A はい。もともと夫とは、離婚に向けた話し合いをしていたのですが、なかなか条件面で折り合えなかったため、これ以上話し合いが長引くのが不安になってしまっています……。それで、夫の方から、別居中の私と子どもたちの生活費を払うことと、毎月2回は夫と子どもたちの親子の交流を行うことを約束して、当面別居を続けることにしないかという提案があったので、深く考えずに、夫の提案を受け入れたのです。その後、夫からは約束された金額の生活

費はきちんと支払われています。でも、何かあったときのことを考えると不安です。だから、生活費の金額をもっと増やしてほしいと夫に求めたいのです。

カ 確認したいのですが、夫から支払われている今の生活費の金額では、何か不足するところがあるのですか？

A そういうわけではないのです。夫からの生活費と私の収入を合わせれば、私と子どもたちの生活は十分に成り立ちます。

カ Aさんのお仕事が変わったとか、お子さんのことか、何か生活上の変化があ

りましたか。

A 特に変化はありません。夫と子どもたちの親子の交流も問題なく行われています。

カ 今支払われている生活費の金額のままでは困るといふ具体的なご事情はありますか？

A そういふ事情はありませんが……。この先、何かあったときのことを考えると不安なんです。

カ どんな不安ですか？

A うまく言えないのですが……。

カ 今までも同じような不安を感じたこと



はありますか。

**A** そうですねえ……。もともと実家の両親は仲が悪く、原因は婿養子だった父の暴力にありました。父が母に手を上げる場面を見るたびに、言いようのない不安な気持ちに襲われていました……。だから、不安から逃れて、安心を得たいとずっと思っていました。結婚する前の夫は、包容力にあふれた人に見えたのです。この人と結婚したら安心できると思っていました。

**カ** 夫は包容力にあふれていると思って、結婚したら不安な気持ちから逃れることができ、安心できると思われたのですね。

**A** そうです。でも、いざ結婚してみたら、手のひらを返すように、夫の態度が変わったのです。

**カ** 手のひらを返す……。どっということでしょうか。

**A** 私のことを見下して、何でも命令するような感じになったのです。私も夫も仕事は忙しかったのですが、夫は家事や育児の分担には全く協力してくれませんでした。少しでも協力してほしいと頼んでも「それはお前の役目だ」とか「もっと

家事のやり方を工夫しろ」とか「大した稼ぎもないくせに偉そうなことを言うな」と一方的に言われ続けていました。それでいて、私が夫の言うとおりに動かないと、途端に不機嫌になって怒鳴り散らしたりするのです。それでも、私の居場所はここしかないと思って、つらいという気持ちさえ自覚できずに耐えてきたのですが……。

**カ** 安心できる場所はここしかないと思って、我慢していたのですね。

**A** そうなんです。でも、安心どころか、不安の方が強くなってしまってます。

**カ** もしかしたら、夫と父親の姿が重なったりしましたか。

**A** 特に意識はしていませんでしたが、そうだったのかもしれないですね。一度だけ、夫から手を上げられたことがあって、もう無理だと思って、別居に踏み切ったのです。

**カ** それから離婚の話合いになったのですか。

**A** そうです。でも離婚の条件でなかなか折り合えず、話合いがどんどん長引いてしまってます……。こんな状態が続くことも

耐えられなくなってしまってます、とりあえず、別居中の生活費と親子交流についてだけ決めようという夫の提案に乗ってしまったのです。

**カ** 離婚の話合いが長引いて、物事が決まらない状態が続くのが不安だったのですね。

**A** そうです。

**カ** その不安に耐え切れずに生活費の取決めをしたことに対して、後悔されましたか。

**A** そうかもしれません。だから、生活費を決め直したかったのかな。生活費の増額を求めることが良いのか、もっとほかに夫と話し合うことがないのか、良く考えてみます。

.....

別居中の生活費の増額を求めたいという主張の背景を尋ねていく中で、Aさんは、ご自身の抱える不安とこれまでの行動や選択との関連を整理していったようです。今後の夫との話

合いがより実りのあるものになることを祈りつつ、Aさんを見送りました。



家庭問題  
カウンセリング  
ルーム